

令和3年度 第1回 会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 要旨

日時：令和3年7月21日（水）13：30～15：00

場所：追手町第二庁舎1階第1会議室

1 開会（司会：観光商工部商工課 田沼）

2 協議

- ・青木准教授が座長となり進行
- ・コアメンバー自身の紹介と、現状について情報を共有した。
- ・令和元年度からの取組内容を共有し、令和3年度取組について、協議を行った。

（発言要旨）（※新型コロナウイルス感染症をコロナと表記）

【直近の状況について】

- ・金山町の企業同士が集まり、『奥会津かねやま福業協同組合』を設立した。具体的には、組合が人員を雇用し、人手不足の組合員に派遣するための組織。
- ・組合の目的としては、首都圏（特に東京など）から人材を確保し、金山に定着してもらい、人材不足で悩む事業所の課題を解決する。
- ・道の駅やガソリンスタンド、接客業などで人手不足が課題となっており、7月に組合として2人雇用し派遣した実績がある（居住地は会津地域の人だった）。9月には首都圏から会津地域に戻ってくる人を採用する予定がある。
- ・小規模企業者の現状を見ると、コロナや後継者の不足などによりとても厳しいように感じる。未来会議の中で、そういった事業者が夢を持てるような提案をしていきたい。
- ・市内の景況感は今年に入ってからさらに悪くなった。緊急事態宣言下だった昨年の4月よりも売上が下がったという事業者が多くいる。特に飲食業や観光業が厳しい。
- ・会津若松商工会議所で実施したプレミアム商品券は予定を上回る応募があり、抽選となった。市内の経済活動の活性化につながることを期待する。
- ・会津若松商工会議所において20万円を上限とする補助金を昨年度に引き続き、今年度も設け、対象事業を募集した。4月・5月で予定数がうまった。また、6月よりよろず支援拠点毎週金曜日に設置することとなった。会津地域全域からの相談を受け付けることができるので、ぜひ活用いただきたい。

※よろず支援拠点とは・・・売上増や経営改善など中小企業者が抱える問題について、専門家（中小企業診断士など）に相談できる窓口。

- ・会津青年会議所では、わんぱく相撲を主催した。6月に開催する予定だった会津大会はコロナの影響で中止となってしまったが、県大会への出場を希望したお子さんも居り、全国大会に3人が出場することとなった。
- ・大会自体が少なくなっており、ぜひ開催して欲しいという意見も多くある。感染対策を工夫しながら、なるべく開催できると良いと考える。
- ・今年、会津青年会議所は70周年を迎える。9月に式典のみを開催する予定で進めている。
- ・コロナ禍での活動は難しいものがあり、商工会議所の青年部では、Youtubeを活用し、会員事業所の紹介を発信しようと考えている。
- ・動画は5分から8分で、観光業などの事業所を中心に発信予定。9月には青年部のホームページにアップしたいと考えている。

- ・あいづ商工会青年部では、地域のお祭りを実施した。
 - ・会津若松商工会議所では、年1回市長に提言書を提出しており、現在、会員事業所によるアンケート結果をもとに、提言書の作成を行なっている。
 - ・さらに、今年度は、以前の提言内容について、前向きな回答を頂いたものの進捗状況を確認していきたい。
 - ・建築業界はウッドショックにより、仕入れ材料が高騰し、業況に影響が出ているようだ。
- ※ウッドショック・・・コロナの影響により、アメリカで新築住宅の需要が増加したため、材料となる木材価格が高騰している。そのため、日本の新築住宅戸建て販売が躊躇されているなどの影響がでている。
- ・中小企業家同友会では、会津地域の長（会津若松市長・喜多方市長・磐梯町長）と8月にパネルディスカッションを行った。
 - ・今後の具体的な協働として、農業・工業・飲食業の連携が重要だと考えている。
 - ・同友会ではコラボの事例発表や、同友会内での表彰などを検討している。
 - ・同じことをやり続けていたのでは、企業として発展していくのは難しいと考えている。
 - ・未来会議でも、葵高校のプロジェクト教育と連携してきたが、色々な人の意見を聞き、新しい考え方や物が生まれることが、地域の未来のためになるのではないか。

【令和3年度の取組について】

①会津プロジェクト教育 葵高校との連携の継続

- ・葵高校において、植物由来プラスチックを使用し、漆塗を施した紫翠盃と会津木綿、植物性の糊を使用した製品を作成している。10月に市内で成果発表会を行うと聞いている。
 - ・8月28日（土）に街中の活性化について探求してきた班を中心に、街中を歩いてめぐるイベントを実施する。
 - ・未来会議との連携を地域に広げていくことが大事と考えるので、上述のような取り組みも含め、会議のコアメンバーが所属している組合を通して紹介していくと波及効果が高いのではないかと考えている。
- ⇒令和3年度も連携は継続し、連携により生まれた案などを、地域の方や事業者に知ってもらえるよう取り組んでいく。

②中小・小規模企業経営者・従業員の勉強会、交流会について

●事務局より昨年度の取組を踏まえ、勉強会・交流会の案について提案

（事務局案）ふくしまものまっぷ関係事業者

ふくしまものまっぷとは・・・福島県とBEAMSのタイアッププロジェクト

県の担当者や、タイアップして商品を作った事業者の方を招き、その際の経験談などを参考にする。また、講演のみで終わらず、参加者同士が名刺を交換するなど、交流できる時間を設け、地域内の経営者・従業員の交流を図る場とする。

- ・コラボ商品を開発してきた方の話を聞くのは面白いと思う。さらに、コラボ商品について『会津若松 AWARD』を作り、応募してもらおうようにするとより発展的で面白いものになるのではないかと考えている。
- ・コロナの影響がある状況では、デジタル化は必須となる。せっかく市内にAictがあるので、ICT企業と意見交換できる機会があるとありがたい。
- ・デジタル化には人材も必要になるので、会津大学生と意見交換できる場が欲しい。

⇒勉強会や交流会は複数回を予定しているので、頂いたご意見も含めて事務局で調整していく。

令和3年度
会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 コアメンバー

令和3年7月現在

所属・企業名	役職	氏名（敬称略）	備考	第1回 出欠
会津大学短期大学部 産業情報学科	准教授	青木 孝弘		出
(有)カナダ工業製作所	専務取締役	金田 卓也	会津若松商工会議所 推薦	出
(株)安西商会		安西 秀幸		出
(株)三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	県中小企業家同友会 会津支部 推薦	出
(株)アイデア	代表取締役	星 文隆	県中小企業家同友会 会津支部 副支部長	出
(株)アクトイン	取締役	松浦 久美	県中小企業家同友会 会津支部 政策委員長	出
TAKLAM	代表	遠藤 和輝	公益財団法人 会津青年会議所 推薦	欠
		林 陵平	公益財団法人 会津青年会議 副理事長	出
会津若松商工会議所	企業振興課長	吉田 浩		出
あいづ商工会	事務局長	白川 浩二		出
福島県中小企業団体中央会 会津事務所	所長	堀 和弘		出
会津信用金庫	本店営業部長	渡部 勝敏		欠
会津商工信用組合	融資部・地域支援課 次長	藤巻 正義		欠
会津若松市観光商工部商工課	課長	長谷川 陽一		出